

平成 28 年 12 月 15 日

## 財務大臣談話

1. 本日、国際開発協会第 18 次増資交渉（IDA18）が合意に至ったことを歓迎する。
2. 今回の増資については、
  - （1）日本が重視するパンデミックや自然災害への予防・備え・対応の強化を重点政策に位置づけたこと
  - （2）増大する開発ニーズに応えるため、新たに市場からの資金調達を導入したことを評価している。
3. 日本としては、厳しい財政状況を踏まえ、出資貢献を前回増資より抑制した約 3,088 億円としつつ、前回増資で導入された融資貢献（円借款）の活用（約 2,924 億円）により、貢献シェアを前回の 10.0%から 10.3%に増加させることとした。

（参考） 国際開発協会（IDA）は、低所得の開発途上国に対し超長期・低利の融資や贈与等を行う世界銀行グループの機関。IDA は 3 年毎の増資により資金を補充しており、IDA18 は 2017 年 7 月～2020 年 6 月の期間を対象とする。